

## 1 月別気象概況 (2020年1月~12月)

福岡管区气象台

### (1) 1月の気象概況

**上旬：** 期間の前半は高気圧に覆われ晴れ、後半は発達した低気圧や寒気の影響で曇りや雨 高温

- ・期間の前半は高気圧に覆われ晴れの日が多かった。後半は、7日から8日にかけて低気圧が発達しながら黄海から日本海へ進んだため、対馬海峡沿岸部を中心に大荒れの天気となり、「日最大風速・風向」、「日最大瞬間風速・風向」の1月の極値を更新した地点があった。暖かく湿った空気の流れ込みや寒冷前線の通過で大気の状態が不安定となり、各地で9.0mmから28.5mmの日最大1時間降水量を観測し、1月の極値を更新した地点が多かった。また、「日最高気温の高い方から」、「日最低気温の高い方から」の1月の極値を更新した地点もあった。その後、一時的に冬型の気圧配置となったが、寒気の影響は小さかった。
- ・気温は、1日は県内各地で平年を下回ったものの、期間を通して平年を上回り期間の後半はかなり上回った日があった。降水量は県内各地で概ね平年を上回り、日照時間は県内全域で平年をかなり上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、6.9~10.3℃(平年差2.2~3.2℃)で平年よりかなり高かった。旬降水量は、12.5~40.0mm(平年比84~368%)で平年並か平年より多く、旬日照時間は、平年比119~156%で平年よりかなり多い地点が多かった。

**中旬：** 期間のはじめは高気圧に覆われて晴れ、中頃からは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨

- ・期間のはじめは高気圧に覆われて晴れの日が多かった。中頃からは気圧の谷や寒気の影響により曇りや雨の日が多かったが、降水量は少なかった。
- ・気温は、14日から15日にかけて寒気の影響で平年を下回ったものの期間を通して県内全地点で平年を上回った。降水量は県内各地で概ね平年を下回り、日照時間は県内全域で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、4.9~8.1℃(平年差0.8~1.8℃)で平年より

高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、0.0～23.0mm(平年比 0～84%)で平年並か平年より少なく県の南部を中心にかなり少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比 49～68%で平年より少ない地点が多くかなり少ない地点もあった。

下旬： 低気圧や前線、気圧の谷の影響で曇りや雨が多かった 27日は発達した低気圧の影響で荒れた天気 高温 多雨 寡照

23日は、大牟田で「日最高気温の高い方から」の1月の極値を更新。24日は、空港北町で「日最低気温の高い方から」の1月の極値を更新

26日から27日にかけて、「暴風と高波及び落雷に関する福岡県気象情報」を発表。29日から30日にかけて、「落雷と降ひょうに関する福岡県気象情報」を発表

県内のほとんどの地点で「月平均気温の高い方から」の1月の極値を更新。空港北町、博多、耳納山で「月降水量の多い方から」の1月の極値を更新

- ・期間を通して、低気圧や前線、気圧の谷の影響を受け曇りや雨の日が多く、期間中の合計降水量は61.5～152.5mmと平年よりかなり多かった。特に、27日は東シナ海の前線上に発生した低気圧が発達しながら九州付近を通過したため荒れた天気となり、日降水量が多い所では50mmを超えるなど、この時期としてはまとまった雨となった。
- ・気温は、はじめと終わりは平年並だったものの期間を通して県内全域で平年を上回り、黒木を除くほぼ全地点で「月平均気温の高い方から」の1月の極値を更新した。降水量は、県内全域で平年を大きく上回り、日照時間は県内全域で平年を大きく下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、8.0～10.2°C(平年差 3.7～5.1°C)で県内全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、61.5～152.5mm(平年比 296～504%)で県内全地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比46～67%で県内のほとんどの地点で平年よりかなり少なかった。

## (2) 2月の気象概況

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、短い周期で気圧の谷や寒気の影響を受けて曇りや雨となる日があった 少雨

- ・期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、九州付近を低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、一時的に寒気の影響を受け曇りや雨となる日があった。
- ・気温は、期間の前半は平年を大きく上回った地点が多く、後半に平年を下回る日があったものの旬の平均は平年を上回った。降水量は、県内全域で平年を大きく下回り、日照時間は県内全域で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $4.1\sim 7.9^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-0.1\sim 1.3^{\circ}\text{C}$ ) でほとんどの地点で平年より高かった。旬降水量は、 $0.0\sim 6.0\text{mm}$  (平年比  $0\sim 21\%$ ) ほとんどの地点で平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比  $100\sim 123\%$  で県内のほとんどの地点で平年より多かった。

中旬：期間の中頃にかけて短い周期で前線や低気圧の影響を受けた 後半は強い寒気の影響で雪の日があった 高温

17日に、空港北町、行橋、朝倉で、「日最大瞬間風速・風向」の2月の極値を更新

17日に、福岡で初雪を観測（平年より64日遅く、昨年より51日遅い）、111年ぶりに最遅の記録を更新

14日から18日にかけて、「強い寒気に関する福岡県気象情報」、「大雪に関する福岡県気象情報」、「暴風雪と大雪に関する福岡県気象情報」を順次、切替発表

- ・期間の中頃にかけて、前線や低気圧が短い周期で通過し曇りや雨となる日があった。その後、17日から18日にかけては冬型の気圧配置となり強い寒気が流れ込んだため、雪を伴って強い風が吹いて荒れた天気となった。福岡では17日に初雪を観測し、平野でも雪が積もった所があった。
- ・気温は寒暖の差が大きく、期間の前半は平年を大きく上回り、後半は平年を大きく下回る日があった。降水量は、ほとんどの地点で平年を上回り大きく上回った所もあった。日照時間は平年を上回る所と下回る所があった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $7.7\sim 10.2^{\circ}\text{C}$  (平年差  $1.9\sim 2.8^{\circ}\text{C}$ ) でかなり

高い所が多かった。旬降水量は、4.0～81.5mm（平年比 61～208%）で平年並か平年より多かった。旬日照時間は、平年比 87～119%でほとんどの地点で平年並だった。

**下旬：高気圧と前線や低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した**  
22日は、「春一番に関するお知らせ」を発表  
耳納山で、「月降水量の多い方から」の2月の極値を更新

- ・期間を通して、高気圧と前線や低気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。
- ・気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、旬を通して県内の全地点で平年を上回り北部では大きく上回った所が多かった。降水量は、県内の全地点で平年を上回り南部のほとんどの地点で大きく上回った。日照時間は平年並か平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、8.7～11.2° C（平年差 1.0～3.3° C）で県内の全地点で平年より高く北部ではかなり高い所が多かった。旬降水量は、21.0～76.0mm（平年比 128～259%）で県内の全地点で平年より多く南部ではほとんどの地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 111～131%で平年並か平年より多かった。

### (3) 3月の気象概況

**上旬：高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過し、天気は短い周期で変化した**

- ・期間を通して、高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。特に期間後半の天気変化は周期が短く、曇りや雨の日が多かった。
- ・気温は、期間の中頃に平年を下回る日があったが、旬を通して県内の全地点で平年を上回り大きく上回った所があった。降水量はほとんどの地点で平年を上回り大きく上回った地点もあった。日照時間は全地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $8.2\sim 10.6^{\circ}\text{C}$  (平年差  $1.2\sim 2.4^{\circ}\text{C}$ ) で県内の全地点で平年より高くかなり高い所もあった。旬降水量は、 $31.5\sim 82.0\text{mm}$  (平年比  $107\sim 218\%$ ) で県内のほとんどの地点で平年より多くかなり多い所もあった。旬日照時間は、平年比  $54\sim 93\%$  でほとんどの地点で平年より少なかった。

**中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨となった日があった 少雨 多照**

14日から15日にかけて、「落雷と降ひょうに関する福岡県気象情報」を  
発表

15日に、空港北町、博多で「日最大瞬間風速・風向」、朝倉で「日最大風速・風向」の3月の極値を更新

- ・期間を通して、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨となった日があった。
- ・気温は、期間の中頃に平年を下回る日があったが、旬を通して平年を上回った日が多く、期間の終わりは大きく上回った日があった。降水量は全地点で平年を大きく下回り、日照時間は全地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $8.5\sim 11.8^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-0.4\sim 1.8^{\circ}\text{C}$ ) で平年より高い所が多かった。旬降水量は、 $2.0\sim 15.5\text{mm}$  (平年比  $4\sim 27\%$ ) と全地点で平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比  $135\sim 175\%$  と全地点で平年よりかなり多かった。

下旬：前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、その後は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨となった日があった 高温

21日は、福岡で「そめいよしの」の開花を観測

26日から27日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

27日に、空港北町、前原、久留米で「日最大1時間降水量」、早良脇山で「日降水量」「日最大1時間降水量」の3月の極値を更新

27日に、太宰府、添田、朝倉、久留米で「日最低気温の高い方から」の3月の極値を更新

空港北町、前原、博多、太宰府、久留米で、「月平均気温の高い方から」の3月の極値を更新

- ・期間の前半は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、後半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨となった日があった。特に、27日は南から暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、雷を伴い県内各地で「日最大1時間降水量」の3月の極値を更新するなど、日降水量が50mmを超える大雨となった。
- ・気温は、期間の終わりに平年を下回る日があったが、旬を通して平年を上回った日が多く、期間の中頃まで大きく上回った日があった。降水量は全地点で平年を上回り、県の北部を中心に大きく上回った地点があった。日照時間は全地点で平年並だった。
- ・県内各地の旬平均気温は、12.3～14.5° C（平年差 2.4～3.2° C）で全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、56.0～118.0mm（平年比 129～204%）と全地点で平年より多く半数の地点でかなり多かった。旬日照時間は、平年比 87～110%と全地点で平年並だった。

## (4) 4月の気象概況

**上旬：期間を通して、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。多照**

**2日は、福岡で「そめいよしの」の満開を観測**

- ・1日は県内各地で日降水量が30mm程度の雨となったが、期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かった。
- ・気温は、期間の初めは平年を上回る日があったが中頃から終わりにかけて平年並か平年を下回り、旬を通して平年並か平年を下回った。降水量は、1日は県内各地でまとまった雨となったが旬を通して県北部では平年並で南部では平年より少なかった。日照時間は、県内の全地点でかなり多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.0～13.3℃(平年差 -1.3～0.3℃)で平年並か平年より低かった。旬降水量は、22.5～45.0mm(平年比 44～80%)と県北部では平年並で南部では平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 137～156%と全地点でかなり多かった。

**中旬：天気は数日の周期で変化 晴れの日もあったが前線や低気圧の影響を受けた日が多かった**

**11日から13日にかけて、「暴風と高波及び落雷に関する福岡県気象情報」を発表**

**12日は、空港北町で「日最高気温の低い方から」の4月の極値を更新**

**13日は、朝倉で「日最大風速・風向」、「日最大瞬間風速・風向」の4月の極値を更新**

**17日は、博多で「日最大風速・風向」の4月の極値を更新**

- ・高気圧と低気圧や前線の影響を交互に受けて、天気は数日の周期で変化した。11日に東シナ海で発生した低気圧が、12日から13日にかけて九州の南海上を発達しながら北東に進んだ影響で荒れた天気となり、多い所で40～50mmの総雨量を観測した。また、17日と19日から20日にかけても前線や低気圧の影響で曇りや雨となった。
- ・気温は、期間のはじめは平年を大きく下回り、その後も平年を下回る日が多かった。降水量は前線や低気圧の影響で全地点で平年を上回り、日照時間は全地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、11.6～14.0℃(平年差 -2.2～-0.9℃)で平年より低くかなり低い地点もあった。旬降水量は、43.0～82.0mm(平年比 112

～197%)と平年より多い地点が多くかなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 71～87%とほとんどの地点で平年より少なかった。

**下旬：気圧の谷や寒気の影響を受けて曇りの日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった 低温 少雨 多照**  
**博多で「月平均気温の低い方から」の4月の極値を更新**  
**朝倉、久留米、大牟田で「月間日照時間の多い方から」の4月の極値を更新**

- ・高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の中頃にかけて気圧の谷や寒気の影響を受けて曇りの日があった。特に22日から23日にかけては冬型の気圧配置となり寒気の影響を受け、3月上旬から中旬並みの最高気温の所が多かった。
- ・期間中の気温は、前半は平年を大きく下回り、その後も平年を下回る日が多かった。降水量は全地点で平年を大きく下回り、日照時間は全地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、12.5～15.0° C (平年差 -3.0～-1.2° C) で全地点で平年よりかなり低かった。旬降水量は、全地点で 0mm (平年比 0%) と平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比 133～156%とほとんどの地点で平年よりかなり多かった。

## (5) 5月の気象概況

**上旬：** 高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した

- ・期間を通して、高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。低気圧や前線が通過した3日は、県内各地で日降水量が40mmを超え行橋では80mmを記録するなど、雷を伴ってまとまった雨となった。
- ・期間中の気温は、はじめと終わりに平年を下回る日があったが、旬を通して平年を上回り大きく上回った地点もあった。降水量は多くの地点で平年並で、日照時間は県北部では平年並で南部では平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、18.1～20.6° C（平年差 0.7～2.1° C）で全地点で平年より高く南部を中心にかなり高かった。旬降水量は、29.5～85.5mm（平年比 63～154%）と県内各地で平年並で北部では平年より多い地点が複数あった。旬日照時間は、平年比 101～124%と県北部のほとんどの地点で平年並で南部では平年より多かった。

**中旬：** 期間のはじめと終わりは晴れ、中頃から後半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった

18日は、「大雨に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を順次、切替発表

- ・期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中頃から後半にかけて前線や湿った空気の影響で曇りや雨となる日が多かった。特に15日から16日にかけては前線が九州付近に停滞したため、日降水量の合計は48.0～81.0mmを観測しまとまった雨となった。また、18日には前線の影響で大気の状態が不安定となったため「福岡県気象情報第1～4号」を発表した。
- ・期間中の気温は、県内全地点で平年を上回り大きく上回った地点もあった。降水量は、ほとんどの地点で上回り、日照時間は、県内全地点で平年並だった。
- ・県内各地の旬平均気温は、18.7～20.3° C（平年差 0.6～1.4° C）で全地点で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、65.0～121.5mm（平

年比 121～181%) と県内のほとんどの地点で平年より多かった。旬日照時間は、平年比 101～117%と県内全地点で平年並だった。

**下旬：期間を通して、高気圧に覆われて晴れた日が多かった 少雨**

- ・期間の中頃と終わりに気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨となった日があったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・期間中の気温は、期間のはじめは平年を下回ったがその後は上回った日が多かった。降水量は、ほとんどの地点で平年を大きく下回り、日照時間は、全地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、19.3～21.8° C (平年差 -0.4～1.2° C) と平年並の地点が多く平年より高い所もあった。旬降水量は、2.0～21.0mm (平年比 6～52%) と平年より少なく、かなり少ない地点も多かった。旬日照時間は、平年比 106～121%と平年より多い地点が多かった。

## (6) 6月の気象概況

上旬：期間の前半は曇りで雨の降った日があったが、後半は晴れた日が多く猛暑日となった所があった 高温

8日、9日は「福岡県高温注意情報」を発表

- ・期間の前半に前線や気圧の谷、湿った空気の影響により曇りで雨が降った日はあったが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。期間の終わりは晴れて気温が上がり、8日と9日は内陸部を中心に最高気温が $35^{\circ}\text{C}$ を超える猛暑日となった所があり、「福岡県高温注意情報」を発表した。
- ・気温は、期間を通して全地点で平年を上回り期間の終わりは大きく上回った。降水量は、多くの地点で平年を大きく下回り、日照時間は、ほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $22.2\sim 25.4^{\circ}\text{C}$  (平年差  $1.9\sim 3.1^{\circ}\text{C}$ ) と全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、 $0.0\sim 6.0\text{mm}$  (平年比  $0\sim 12\%$ ) と平年より少なく、かなり少ない地点も多かった。旬日照時間は、平年比  $108\sim 133\%$  とほとんどの地点で平年より多かった。

中旬：期間の中頃と終わりに晴れの日があったが、その他は曇りや雨の日が多く大雨となった日があった 高温

11日頃に九州北部地方は梅雨入り (平年比6日遅い・昨年比15日早い)

10日から11日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

12日から14日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

17日から19日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間の中頃と終わりに晴れの日があったが、期間を通して曇りや雨の日が多く、11日と18日から19日にかけては $100\text{mm}$ を超える地点もあり、雷を伴う大雨となった。
- ・気温は、期間の終わりは平年を下回ったが期間を通して全地点で平年を上回りほとんどの地点では大きく上回った。降水量は、全地点で平年を上回り南部を中心に大きく上回った地点が多かった。日照時間は、全地点で平年を下回り南部では大きく下回った地点も複数あった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $23.4\sim 25.0^{\circ}\text{C}$  (平年差  $1.0\sim 2.1^{\circ}\text{C}$ ) とほとんどの地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、 $130.5\sim 334.5\text{mm}$  (平年

比 158～325%) と平年より多く南部を中心にかなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 40～72% と全地点で平年より少なく南部ではかなり少ない地点もあった。

下旬：期間のはじめは晴れ、中頃からは梅雨前線の影響で曇りや雨となり大雨の日があった 多照

23 日、24 日は、「福岡県高温注意情報」を発表

25 日から 26 日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

27 日から 28 日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

27 日は、朝倉、久留米で「日最大 1 時間降水量」の 6 月の極値更新、久留米では年の極値も更新

29 日から 30 日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」、「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

福岡や飯塚をはじめとして県内の多くの地点で、「月平均気温の高い方から」の 6 月の極値更新

- ・期間のはじめは高気圧に覆われ晴れて気温が上がり、23 日は久留米で最高気温 35.5° C と猛暑日となった。その後は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、梅雨前線の活動が活発となった 25 日と 27 日は所々の地点で日降水量が 100mm を超える大雨となった。
- ・気温は、期間を通して平年を上回る日が多く期間のはじめにかなり上回る日もあった。降水量は平年を上回る地点が多く、日照時間は全地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、24.0～25.9° C (平年差 0.3～1.9° C) とほとんどの地点で平年より高くかなり高い地点もあった。旬降水量は、82.0～356.5mm (平年比 73～185%) と平年並か平年より多く、久留米ではかなり多かった。旬日照時間は、平年比 175～228% と全地点で平年よりかなり多かった。

## (7) 7月の気象概況

上旬：期間を通して梅雨前線の影響で曇りや雨となり記録的な大雨となった所があった 多雨

5日から10日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

6日から7日にかけて、大牟田市、八女市、みやま市、広川町に大雨特別警報を発表

6日は、柳川、大牟田で「日降水量」の年の極値を更新、大牟田では「日最大1時間降水量」の7月の極値も更新

7日は、大牟田で「日最大瞬間風速・風向」の7月の極値を更新

- ・期間を通して梅雨前線が九州付近に停滞したため曇りや雨となり大雨となった日があった。特に、6日未明から8日朝にかけては対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が非常に不安定となったため、県内各地で局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り筑後南部では記録的な大雨となった。6日16時30分に大牟田市、八女市、みやま市、広川町に大雨特別警報を発表した。この大雨で、6日の日降水量は、大牟田で388.5mmを観測し、7月の月降水量平年値(373.5mm)を超えた。このほか、6日0時から8日9時までの降水量は、大牟田で665.5mmとなったほか、筑後地方を中心に500mm以上となった。
- ・気温は、期間を通して平年を下回り、大きく下回る日もあった。降水量は全地点で平年を大きく上回り、日照時間は全地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、22.7～24.4℃(平年差-2.3～-1.3℃)と全地点で平年より低かった。旬降水量は、273.0～955.5mm(平年比240～624%)と全地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比35～52%と全地点で平年より少なくかなり少ない所もあった。

中旬：期間の中頃に晴れ間はあったものの、期間を通して梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった11日から14日にかけて、「大雨に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表  
20日は、「日照不足に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間を通して梅雨前線が九州付近に停滞したため、曇りや雨となり大雨となった日があった。特に、13日夜から14日朝にかけて九州北部地方の梅

雨前線上を低気圧が通過して暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったため、県内の多くの地点で激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となった。この大雨で、14日の日降水量は、添田で133.5mm、朝倉で125.5mm、英彦山で169.5mmを観測した。その後晴れ間はあったものの曇りや雨の日が多かった。

- ・気温は、期間の終わりに平年並となったが期間を通しては全地点で平年を下回った。降水量は多くの地点で平年並で、多いやかなり多い地点もあった。日照時間はほとんどの地点で平年を下回り、南部ではかなり少ない地点もあった。
- ・県内各地の旬平均気温は、23.7～25.5° C（平年差 -2.7～-1.5° C）と全地点で平年より低かった。旬降水量は、77.0～273.0mm（平年比 58～194%）と平年並の地点が多く、多いやかなり多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 50～81%とほとんどの地点で平年を下回り、かなり少ない地点もあった。

**下旬：期間を通して梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった、多雨、寡照**  
22日から24日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

26日から28日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」、「大雨に関する福岡県気象情報」を発表

30日、31日は、「福岡県高温注意情報」を発表

30日頃に九州北部地方は梅雨明け（平年比11日遅い・昨年比5日遅い）  
空港北町、早良脇山、朝倉、英彦山、久留米、耳納山、黒木、柳川、大牟田で、「月降水量の多い方から」の年の極値更新

博多で、「月平均気温の低い方から」の7月の極値更新

- ・九州北部で梅雨が明けたと思われる30日の前日までは梅雨前線が九州付近に停滞したため、曇りや雷を伴った雨の日が多く大雨となった日があった。特に、24日、26日、27日は梅雨前線の活動が活発となったため、100mmを超える日降水量を観測した地点があった。梅雨が明けた期間の終わりは晴れとなり、県内に高温注意情報を発表した。
- ・気温は、期間の中頃を中心に平年を下回り期間を通して全地点で平年を下回った。降水量は、ほとんどの地点で平年をかなり上回った。日照時間は、ほとんどの地点で平年をかなり下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.4～27.2° C（平年差 -1.4～-0.5° C）と全地点で平年より低かった。旬降水量は、113.0～428.5mm（平年比 196～503%）

と県内のほとんどの地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 36～50%とほとんどの地点で平年よりかなり少なかった。

## (8) 8月の気象概況

上旬：期間の前半は晴れ、後半は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった

1日から6日にかけてと、9日から10日にかけて、「福岡県高温注意情報」を発表

9日から10日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間の前半は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れの天気となった。後半は気圧の谷や湿った空気の流れ込みで曇りや雨の日が多かった。10日は九州の西海上から対馬海峡に進んだ台風第5号の強風域に入り、荒れた天気となった所があった。
- ・気温は、期間を通して概ね平年を上回った。降水量は、ほとんどの地点で平年を下回ったが、柳川では大きく上回った。日照時間は、期間の前半は平年を上回り後半は平年を下回る日が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、27.2～29.9℃(平年差 0.1～1.6℃)とほとんどの地点で平年より高かった。旬降水量は、1.0～75.0mm(平年比 6～158%)と平年並か平年より少ない所が多かったが多い地点もあった。旬日照時間は、平年比 89～107%と平年並であった。

中旬：期間のはじめに雷雨の日があったが、その他の日は太平洋高気圧に覆われ晴れて猛暑日が続いた 高温 多照

12日から20日にかけて、「福岡県高温注意情報」を発表

20日は、飯塚で「日最高気温の高い方から」の年の極値を更新

- ・11日から12日にかけては湿った空気の流れ込みで大気の状態が不安定となり、雷雨となった所があった。その後は太平洋高気圧に覆われて安定した晴れとなり猛暑日が続いた。
- ・気温は、期間のはじめは下回る所があったが、その後は平年を大きく上回った。降水量はすべての地点で平年を下回り、日照時間はすべての地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、28.3～30.5℃(平年差 1.1～2.6℃)と平年よりかなり高かった。旬降水量は、17.0～54.5mm(平年比 20～93%)と平年並か平年より少なかった。旬日照時間は、平年比 145～190%と平年よりかなり多かった。

下旬：期間を通して晴れて猛暑日となった日が多かったが、雷雨となった日もあった 高温

22日から23日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

24日は、「長期間の高温に関する福岡県気象情報」を発表

25日は、太宰府で「日最高気温の高い方から」の8月の極値を更新

宗像、八幡、飯塚で、「月平均気温の高い方から」の年の極値を更新

行橋、添田で、「月平均気温の高い方から」の8月の極値を更新

添田で、「月降水量の少ない方から」の8月の極値を更新

- ・期間を通して高気圧に覆われ晴れて猛暑日となった日が多かったが、午後は強い日射の影響で大気の状態が不安定となり雨や雷雨となった日もあった。また、期間の中頃には東シナ海を北上した台風第8号に伴って湿った空気が流れ込み曇りや雨の日があった。
- ・気温は、期間を通して平年を上回り大きく上回る日も多かった。降水量はすべての地点で平年を下回り、日照時間はすべての地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、27.5～30.2° C（平年差 1.2～3.0° C）と平年よりかなり高かった。旬降水量は、0.0～41.5mm（平年比 0～53%）と平年より少なく、かなり少ない所も多かった。旬日照時間は、平年比 103～143%と平年より多かった。

## (9) 9月の気象概況

上旬：九州西海上を北上した台風第9号と第10号の影響で大荒れとなった日があった

1日から3日にかけて、「令和2年台風第9号に関する福岡県気象情報」を発表

4日から7日にかけて、「令和2年台風第10号に関する福岡県気象情報」を発表

1日は福岡、博多、太宰府で「日最高気温の高い方から」の9月の極値を更新

1日は空港北町、久留米、2日は宗像で「日最低気温の高い方から」の9月の極値を更新

2日は宗像、3日は八幡、朝倉、7日は空港北町、行橋、博多、太宰府、添田で「日最大瞬間風速・風向」の9月の極値を更新

また、朝倉、博多は年の極値も更新

- ・台風第9号（2日夜遅く福岡県に最も接近）と台風第10号（7日明け方福岡県に最も接近）が、大型で非常に強い勢力で九州西海上を北上したため大荒れとなった日があった。これらの台風で「日最大瞬間風速・風向」の9月の極値を更新した所も多く、朝倉（南33.4m/s：9月3日）と博多（南39.1m/s：9月7日）では年の極値を更新した。
- ・気温は、期間を通して平年を上回る日が多く、期間のはじめは大きく上回った。降水量は平年を下回った地点が多かったが、前原や太宰府など大きく上回った所もあった。日照時間はすべての地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、25.5～27.6℃（平年差0.2～1.8℃）と平年より高く、かなり高い地点もあった。旬降水量は、13.0～171.5mm（平年比27～179%）と平年並か平年より少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比68～93%と平年より少ない地点が多かった。

中旬：高気圧や九州付近に停滞した前線の影響で天気は数日の周期で変化 多雨

11日から12日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」、「大雨と落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表

17日から18日にかけて、「大雨と落雷及び突風に関する福岡県気象情報」を発表

- ・期間のはじめは九州北部地方に停滞した前線の影響で雨や雷雨となり、特に 12 日の日降水量は 100mm を超える大雨となった所（太宰府で 101.5mm、早良脇山で 109.0mm）があった。その後は、高気圧や九州付近に停滞した前線の影響で天気は数日の周期で変化した。
- ・気温は、期間の中頃に平年を上回った日もあったが期間を通して平年を下回った。降水量は、県内の全地点で平年を上回り、特に南部では全地点で大きく上回った。日照時間はすべての地点で平年を下回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、21.7～23.9° C（平年差 -2.4～-0.3° C）と平年並か平年より低かった。旬降水量は、75.0～242.5mm（平年比 204～517%）と県北部では平年より多く複数の地点ではかなり多かった。県南部では全地点で平年よりかなり多かった。旬日照時間は、平年比 64～82%と県内全地点で平年より少なかった。

**下旬：期間の前半は曇りの日が多く雨の降る日もあったが、後半は晴れの天気となった**

- ・期間の前半は気圧の谷と九州の南の前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が続いた。
- ・気温は、期間のはじめと終わりに平年を下回った日もあったが期間を通して平年並のところが多かった。降水量は、県内の全地点で平年並だった。日照時間は、県内の全地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、19.8～22.3° C（平年差 -1.8～0.0° C）と平年並の地点が多く、県南部では平年より低い地点もあった。旬降水量は、25.5～43.0mm（平年比 45～78%）と県内全地点で平年並だった。旬日照時間は、平年比 106～141%と県内の全地点で平年より多かった。

## (10) 10月の気象概況

**上旬： 晴れた日が多かったが、天気は短い周期で変化 少雨**

- ・期間を通して、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や気圧の谷、湿った空気の影響を受けて、天気は短い周期で変化した。
- ・気温は、期間の中頃に平年を下回った日もあったが期間を通して平年を上回った地点が多かった。降水量は県内の全地点で平年を下回り、日照時間はほとんどの地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $19.4\sim 22.0^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-0.5\sim 1.7^{\circ}\text{C}$ ) と平年より高く、かなり高い地点もあった。旬降水量は、 $0.0\sim 12.0\text{mm}$  (平年比  $0\sim 33\%$ ) と平年よりかなり少ない地点が多かった。旬日照時間は、平年比  $99\sim 125\%$  と平年並か平年より多かった。

**中旬： 晴れた日が多かったが、天気は数日の周期で変化**

- ・期間を通して、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けて、天気は数日の周期で変化した。
- ・気温は、期間の中頃に平年を下回った日もあったが期間を通して平年並だった。降水量は県内全地点で平年並で、日照時間は県の北部を中心に平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $16.7\sim 19.5^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-1.2\sim 0.4^{\circ}\text{C}$ ) と県内全地点で平年並だった。旬降水量は、 $4.0\sim 23.5\text{mm}$  (平年比  $30\sim 66\%$ ) と県内全地点で平年並だった。旬日照時間は、平年比  $100\sim 121\%$  と平年並か平年より多かった。

**下旬： はじめは曇りや雨となったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。 多雨 多照**

- ・期間のはじめは、気圧の谷や湿った空気の影響を受けて曇りや雨となったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・気温は、期間のはじめから中頃にかけて平年を下回った日もあったが期間を通して平年並だった。降水量は、県内全地点で平年を上回り南部ではほとんどの地点で大きく上回った。日照時間は県内の多くの地点で平年を大きく上回った。

- ・県内各地の旬平均気温は、14.5～17.4° C（平年差 -1.3～0.3° C）と県内ほとんどの地点で平年並だった。旬降水量は、36.0～78.5mm（平年比 192～398%）と県内全地点で平年より多く南部を中心にかなり多い地点があった。旬日照時間は、平年比 123～136%と県内全地点で平年より多く北部を中心にかなり多い地点があった。

## (11) 11月の気象概況

**上旬：** 天気は数日の周期で変化、期間を通して気温の変動が大きかった

- ・高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や気圧の谷の影響で数日の周期で雨の日があった。また、期間を通して気温の変動が大きく、県内の最高気温が 25° C 以上の夏日となった日や最低気温が霜の降りる目安の 3° C 以下となった日があった。
- ・気温は数日の周期で変動し、平年を上回ったり下回ったりした。降水量は県内全地点で平年を下回り、日照時間は県内全地点で平年を上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、12.3~15.7° C (平年差 -1.9~0.0° C) と平年並か平年より低かった。旬降水量は、9.5~32.5mm (平年比 35~94%) と平年並で平年より少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 108~127% と平年より多い地点が多かった。

**中旬：** 期間の前半は晴れの日が続いたが、後半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった 高温 多照

19日から20日にかけて、「落雷と突風に関する福岡県気象情報」を発表  
19日は、八幡、空港北町で、「日最高気温の高い方から」の11月の極値を更新

八幡、朝倉、黒木で、「日最大風速・風向」の11月の極値を更新

博多、久留米で、「日最大瞬間風速・風向」の11月の極値を更新

- ・期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が続いたが、後半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に19日は南下する寒冷前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、日中は県内の多くの地点で夏日を観測し、夜は大気の状態が非常に不安定になり雷雨となった所があった。
- ・気温は期間のはじめは平年を下回った日があったが、その後は平年を上回り期間の後半は大きく上回る日があった。降水量は筑後地方では平年を上回ったがその他の地域では大きく下回った所が多かった。日照時間は県内全地点で平年を大きく上回った。
- ・県内各地の旬平均気温は、13.9~17.0° C (平年差 2.4~4.3° C) と全地点で平年よりかなり高かった。旬降水量は、0.5~52.0mm (平年比 3~286%) と筑後地方では平年並か平年より多かったが、その他の地域は平年より少なくかなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 135~158% と全地

点で平年よりかなり多かった。

下旬： 期間のはじめと中頃に雨の日があったが、期間を通して曇りの日が多かった

- ・期間のはじめと中頃に気圧の谷や前線の影響で雨の日があったが、期間を通して曇りの日が多く期間の終わりには寒気の流入も見られた。
- ・気温は、期間の終わりは平年を下回った日があったが、期間を通して平年を上回った。降水量は、県北部で平年並の所もあったが県内の多くの地点で平年を下回り南部で大きく下回った所があった。日照時間は、県北部ではほとんどの地点で平年を下回りかなり少ない地点もあった。南部では平年並みだった。
- ・県内各地の旬平均気温は、10.6～13.3° C (平年差 0.5～1.6° C) と全地点で平年より高かった。旬降水量は、0.0～14.0mm (平年比 0～46%) と県北部の一部で平年並だったが、その他の地域は平年より少なくかなり少ない地点もあった。旬日照時間は、平年比 62～105%と南部では平年並で、北部ではほとんどの地点で平年より少なくかなり少ない地点もあった。

## (12) 12月の気象概況

**上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、寒気の影響で曇りの日もあった 少雨**

- ・期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、一時的な寒気の流入による曇りの日もあった。
- ・気温は、期間のはじめと終わりは平年を上回った地点もあったが、期間を通して平年並みか平年を下回った。降水量は、期間内にほとんど降水がなく、県内全地点で平年を大きく下回った。日照時間は、県内全地点で平年を上回り南部ではかなり上回った地点もあった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $7.2\sim 10.5^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-0.9\sim 0.5^{\circ}\text{C}$ ) と全地点で平年並みか平年より低かった。旬降水量は、 $0.0\sim 0.5\text{mm}$  (平年比  $0\sim 2\%$ ) と県内全地点で平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比  $121\sim 159\%$  と県内全地点で平年より多く南部では平年よりかなり多い地点も複数あった。

**中旬：天気は短い周期で変化 寒気の影響を受ける日が多く、雨や雪、みぞれの降った日があった 少雨**

14日は「雪に関する福岡県気象情報」を発表

15日に福岡で初雪を観測 (平年と同じ、昨年より64日早い)

- ・高気圧と気圧の谷の影響を交互に受けて天気は短い周期で変化した。気圧の谷の通過後に冬型の気圧配置となり寒気の影響を受ける日が多く、雨や雪、みぞれの降った日があった。
- ・気温は、期間のはじめは平年を上回ったが、その後は平年を下回り大きく下回った日があった。降水量は、期間内にほとんど降水がなく、県内全地点で平年を大きく下回った。日照時間は、県の南部を中心に平年を上回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、 $3.7\sim 7.5^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-2.2\sim -1.1^{\circ}\text{C}$ ) と平年より低くかなり低い所が多かった。旬降水量は、 $0.0\sim 2.0\text{mm}$  (平年比  $0\sim 9\%$ ) と県内のほとんどの地点で平年よりかなり少なかった。旬日照時間は、平年比  $78\sim 125\%$  と平年並みか平年より多かった。

**下旬：気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、雪の降る日もあった**

23 日に福岡で初霜（平年より 11 日遅い、昨年より 14 日遅い）、初氷（平年より 7 日遅い、昨年より 9 日早い）を観測

28 日から 31 日にかけて「暴風雪と高波及び大雪に関する福岡県気象情報」、「大雪に関する福岡県気象情報」を発表

30 日は行橋、朝倉、大牟田で、「日最大風速・風向」及び「日最大瞬間風速・風向」の 12 月の極値を更新

31 日に脊振山の初冠雪を観測（平年より 23 日遅い、昨年より 24 日遅い）

- ・期間を通して気圧の谷や寒気の影響を受け曇りや雨の日が多かった。30 日から 31 日にかけては冬型の気圧配置が強まり強い寒気が流れ込んだため雪を伴う荒れた天気となり、山地を中心に平地でも雪の積もった所があった。
- ・気温は、期間の前半は平年並で推移したが後半は寒暖の差が大きかった。降水量は平年を大きく上回る地点が多く、日照時間は平年をやや下回った地点が多かった。
- ・県内各地の旬平均気温は、4.6～7.6° C（平年差 -0.8～-0.1° C）と平年より低い地点が多かった。旬降水量は、24.0～53.0mm（平年比 116～279%）と平年よりかなり多い地点が多かった。旬日照時間は、平年比 84～99%と平年並であった。

## (13) 月別値の階級区分

### 福岡の月別値の階級区分

年 月	月平均気温	月降水量	月日照時間
令和2年 1月	かなり高い	かなり多い	少ない
令和2年 2月	かなり高い	平年並	多い
令和2年 3月	かなり高い	多い	かなり多い
令和2年 4月	かなり低い	少ない	かなり多い
令和2年 5月	高い	平年並	多い
令和2年 6月	かなり高い	多い	多い
令和2年 7月	低い	かなり多い	かなり少ない
令和2年 8月	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
令和2年 9月	平年並	かなり多い	平年並
令和2年 10月	平年並	平年並	多い
令和2年 11月	かなり高い	かなり少ない	多い
令和2年 12月	低い	少ない	多い

### 階級区分について

気象要素の分布を値の大（高）、小（低）によって、「高い（多い）」、「平年並」、「低い（少ない）」の3階級を用い、平年から極端に異なった状況を表現する場合には、「かなり高い（多い）」、「かなり低い（少ない）」を補足的に用いています。3階級の出現率は「33.3%、33.3%、33.3%」（1：1：1）の等確率で、「かなり高い（多い）」、「かなり低い（少ない）」の出現率は10%です。